

# 環境教育を通じた環境の人づくり



## 環境学習の意欲増進

### 1 人材の育成と活用

#### ① 子どもの科学する心を醸成するためのネットワークづくり

教育機関に限らず、関係する機関・団体との連携を深め、役割分担を明確にしつつ、発達段階に応じた「科学する心」の醸成のための取組みを行っています。具体的には、サイエンス・ナビゲーター派遣事業や夏休み親子科学教室など小・中学生を対象とした科学教育のモデル事業を実施し、本県の将来の科学技術を担う人材の育成を図っていきます。

#### ② 山形県環境アドバイザー派遣事業

環境についての理解と認識を深め、自主的な環境保全活動を推進することを目的として、学校や中小企業、住民団体等が主催する環境問題・環境保全に関する講演会・学習会等に、県が選任する「山形県環境アドバイザー」を派遣しています。平成21年度は、県内の学識経験者等71名を山形県環境アドバイザーとして委嘱し、49回の派遣を行いました。

#### ③ やまがた環境リーダー養成講座

山形県環境科学研究センターでは地域や職場において環境活動に主体的に取り組む環境リーダーを育成するため、講座を開催しています。平成21年度は、年4回開催し、167名が受講しました。

### 2 環境学習拠点機能の充実

#### ① 山形県環境学習支援団体認定制度

県内で環境学習施設見学や環境学習講座等を通じて環境学習を支援している民間団体を認定するもので、県民に質の高い環境学習の機会の提供を行うとともに、団体の実施する環境学習への参加により、環境保全の意欲増進を図ることを目的としています。平成21年度は「酒田市子どもと白鳥を愛する会」を認定しました。

##### 酒田市子どもと白鳥を愛する会(酒田市)

白鳥の生態に関する紙芝居、木炭を活用しての水質改良の体験学習などの講座を通じ、地球温暖化防止、水環境について学習します。



環境学習拠点施設「ログハウス 自然学習舎 はぐくむ」

#### ② 情報の提供

環境学習拠点施設の一つである、山形県環境科学研究センターにおいて、環境保全に関する相談や環境に関する図書等の貸し出しを行っています。また、環境保全等の情報を広く提供するため、「やまがたけんの環境情報」を発行しています。

### 3 環境保全活動の顕彰

#### ① 環境やまがた大賞

環境の保全と創造に関し、特に顕著な功績のあった個人又は団体（グループ、NPO、学校等）を顕彰し、広く公表することにより県民・団体による主体的な環境保全活動を促進することを目的としています。県内に居住する個人又は県内に主たる活動の拠点を有する団体を対象とし、平成21年度は次の4団体を顕彰しました。

##### 国立鶴岡工業高等専門学校教授 小谷 卓さん（鶴岡市）

市の環境啓発イベント「環境フェアつるおか」を第1回から実行委員長として開催を継続するなど、地域における環境保全の取組みを牽引しています。

##### 特定非営利活動法人国際ボランティアセンター山形(IVY)（山形市）

地球子どもキャンプの開催や、キャンプリーダーの養成講座を通して、山形の自然の中での環境教育の推進に貢献しています。

##### 山形県立置賜農業高等学校 MOTTAINAIプロジェクトチーム（川西町）

産学官からなる「MOTTAINAI研究会」の一員として、地域の食品加工業者から出るワインの搾りかす等の食品産業廃棄物からリサイクル飼料を製造し、地域の畜産農家等へ供給することで、地域資源循環型社会の創出に大きく貢献しています。

##### 万里の松原に親しむ会（酒田市）

クロマツの林である「万里の松原」の植栽木の剪定や下刈等の管理作業により、保安林としての機能の維持と住民の憩いの場づくりを行うとともに、周辺の小中高校5校との「万里の松原学校連絡会」を組織化し、子どもたちの森林環境学習を支援しています。

#### ② 山形県環境保全推進賞

山形県環境保全協議会（平成5年設立、県内約210社で構成）では、県内企業又はその従業員の方々の先駆的な環境保全の取組みを顕彰して、今後一層の取組みを奨励するとともに、このような活動の普及を図るため、「山形県環境保全推進賞」制度を実施しています。平成21年度は次の4団体を顕彰しました。

##### 山形県知事賞

##### やまがたグリーンパワー株式会社（村山市）

日本初の大規模木質バイオマスガス化発電所を完成し、木質バイオマスを活用した発電事業に取り組み、地球温暖化防止に努めています。また、地元の果樹剪定枝回収（野焼き対策）の実証試験に取り組み、地域との積極的な連携やグリーン電力証書の発行なども行っています。

##### 環境保全推進賞

##### 日本フィルター株式会社 米沢営業所（米沢市）

平成19年にエコアクション21の認証を取得。二酸化炭素排出量、廃棄物、水使用量に関して独自の対策を行い、大幅な削減を実現しました。継続的活動となるように活動の成果を数値化、具体化し、全従業員が共有できるシステム作りにも力を入れています。また、工場周辺の清掃活動にも取り組んでいます。

##### 株式会社森環境技術研究所（新庄市）

建設現場から発生する建設汚泥や浄水場から発生する浄水発生土等を再資源化する「ボテンラン工法」を開発しました。従来産廃処分することが一般的であった「汚泥」を本工法により盛土材や緑化基盤材に再資源化することで、最終処分量の削減に貢献しています。

##### 選考委員特別賞

##### 社団法人日本自動車販売協会連合会山形県支部（山形市）

エコカー、エコドライブの普及や、全国初の環境マイスター制度を実施しています。また、山形県自動車販売店リサイクルセンターを設立し、資源の有効活用と循環型社会の実現に向けた活動に努めています。平成21年にはNPO法人自動車公益センターを設立し、公益活動や産学連携による環境保全型事業を計画しています。

## 2 環境教育の充実

### 1 環境学習施設における環境教育

#### ① 出前講座・所内講座

学校や民間団体の要請により山形県環境科学研究センター職員を講師として派遣する「出前講座」、センター視察者・来所者を対象とした「所内講座」を実施しています。平成21年度は、出前講座を13回実施し、317名が受講、所内講座を10回実施、307名が受講しました。



#### ② 水生生物による水質調査

河川に生息する水生生物を調査することにより、身近な河川の水質状況を知り、水環境の保全の大切さを学習することを目的としています。平成21年度は、延べ2,068人（86団体）が参加し、県内65河川の143地点で調査を行いました。また、調査結果を取りまとめた河川水質マップポスターを作成しました。



#### ③ 全国星空継続観察(スターウォッチング・ネットワーク)

星の見え方は大気汚染の状態によって変わるため、夜空の星を観察することにより、大気や地球環境の状況を知り、大気保全の大切さを学習します。平成21年度は、夏期・冬期合わせて延べ8団体71名が参加しました。

#### ④ こどもエコクラブ支援事業

子どもたちが地域の中で仲間と一緒に主体的に環境に関して学習し、活動を展開できるように支援することを目的としています。平成21年度は、県内で10クラブ(クラブ員430名、サポーター84名)の登録があり、各クラブでは水生生物調査や家庭での省エネについての学習会などを行いました。



### 2 学校・地域における環境教育

平成16年3月に、「知徳体が調和し、『いのち』輝く人間の育成」を目標に、「山形の教育『いのち』そして『まなび』と『かかわり』」をテーマとした「第5次山形県教育振興計画」を策定しました。また、平成19年3月に「山形県環境教育指針」を改訂し、今後の環境教育のあり方を示しています。

#### ● 森林体験学習の支援

やまがた緑環境税を活用し、子どもたちから森林に関する知識や理解を深めてもらう事を目的に、森林環境学習のための副教材及び指導者用のガイドブックを作成し、県内小学校、図書館、市町村教育委員会、市町村農林担当課へ配布しました。

また、県内4つの「県民の森」(県民の森、眺海の森、源流の森、遊学の森)では、地域の環境文化等に根ざした各種プログラム等を提供するとともに、自然体験学習を指導する「森の案内人」が登録されており、森林体験学習を支援しています。

